

そんなに思いつめないで

——非行・校内暴力・男女交際・性など
家庭教育について考える——

登校拒否

相談

6月ごろから頭が痛いとか、部活動の先輩にいじめられると訴えて休むことが多くなりました。

スポーツも得意な長女

しかし、夏休みは部活動にも参加し、宿題も全部やりましたので2学期を期待していたのですが、9月は初めの5日間登校しただけで、その後は休んだままです。担任の先生が

来て励ましてくれましたが、下を向いて何も話しません。クラス友達も毎日交代で訪ねてきてくれますが、会おうとしません。母親には学校以外のことは話をするのですが、父親の私には何も話しません。母親が登校を促すと大声で泣いたり、無理難題を言ったりします。

スポーツが得意で、学業成績も上位だった子だけに残念でな

りません。周囲から転校させたらとか施設に入れたらなどとすすめられます。転校することで立ち直りができるものでしょうか。

答え

登校したい気持ちを持ちながら学校に行けない子たちは、その心を簡単に言葉に表すことができません。

転校で簡単に治らない

休日には元気で明るく振る舞うのに、登校日になるとどうして行けなくなるのか、第三者にはなかなかわからな

いものです。登校拒否(症)は親が子どもを過保護に育てた結果であるという総合的な見方にまちがいはありませんがその治療はその子の状況に合わせて、多種多様な方法の中から適した方法を選ばなければなりません。規律正しい生活をすればよいとか、施設に入れたり、転校するなど環境を変えれば簡単に治るといえるものでもありま

せん。

登校拒否(症)になりやすい子は、小心で神経質な子が多く、その子の虚弱な心の中に自分で生きる力を育むことが一番確かな治療ですから、大きな声で叱ったりほめたりすることが必ずしも効果があるとは言えません。A子さんの苦しみが表情にも強く出ているようですから、厳しい対応は容態を一層悪化すると思われまます。干渉や働きかけをやめて、しばらくそつと見守ることが大切です。本人ががままを言っても受けつけないことです。本人への干渉を避けて、登校への自覚がその心の中に芽生えるまでじつと待つという方法が一般的な登校拒否の子への対応です。お子さんにもこの方法でのぞまれるのがよいと思われまます。

その子への干渉を避けるといつても個人差があり、登校拒否の進行の状態によって、そのときの接し方に変化をもたせることも必要です。

静岡県教育委員会教育相談センター 監修 第一法規出版株式会社 発行

●そんなに思いつめないで ●
「ハロー電話」ともしび」相談事例より

相談室をご利用ください

11月の各相談室の開設日は次のとおりです。

お気軽にご利用ください。



相談室	相談日	場所	時間	備考
健康相談	11月11日(火) 11月25日(火)	大 総会館 文化会館	午後1時30分 ～午後3時	40歳以上の方は健康手帳をご持参ください
教育相談	11月4・11・18・25日	中央公民館	午後1時30分 ～午後4時30分	当日は、電話でも相談に応じます(内線69)
心配ごと相談	11月4・11・18・25日	中央公民館	午後1時 ～午後4時	
人権相談	11月4・18日	中央公民館	午後1時 ～午後4時	

違反点数1点

～運転者は助手席同乗者にも着用義務があります～